

平成23年12月26日

災害に強いLPガスを使用した非常用発電機を共同開発

デンヨー株式会社

本社・東京都中央区日本橋堀留町2-8-5
社長・古賀 繁、資本金19億5484万円

デンヨーは、LPガスのリーディングカンパニーである岩谷産業株式会社（本社：大阪府中央区本町3-6-4 代表取締役社長：牧野明次）から、これまでのガス事業で蓄積されてきたノウハウの提供を受け、LPガス非常用発電機を共同開発しました。

LPガスは、大規模災害が発生し電気や都市ガスなどのライフラインが寸断され復旧に時間を要した場合に、調理や給湯、暖房等の燃料として仮設住宅や避難所で使用される災害に強いエネルギーです。その貴重なエネルギーであるLPガスの安定的な供給が維持できるようLPガス充填所などへの非常用発電設備の設置要望が高まっております。

今回、両社で共同開発したLPガス非常用発電機は出力容量34kVAの三相機と20kVAの単相機で、来年1月に予定される岩谷産業竜ヶ崎工場での実証運転をはじめ、多くのガス充填所への納入が計画されています。

また、大震災の影響により、社会活動を支えるインフラのひとつである電力を安定確保することの重要性が増してきており、ガス充填所のみならず公共施設や病院、マンションなどの非常用電源として、年間500台の販売を予定しています。



LPガス非常用発電機 LEG-34UST